

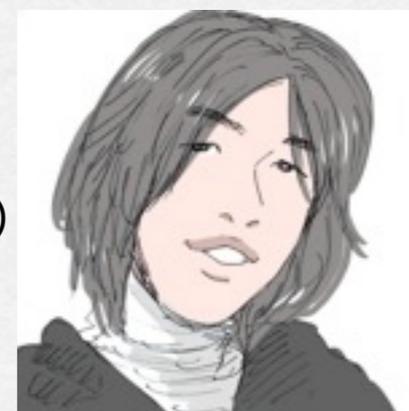


静岡は二度目！



自己紹介

- 明石 健 (@ksworks)
 - 神奈川県川崎市在住
 - 東ラ研タスク管理分科会スタッフ
 - **[New!]**タスクセラピー コーチ(首にならなければ)
 - 本業：システムエンジニア
 - 趣味：いろいろ
 - 実はかなり適当人間



Context-Driven Task Management

2012-05-12 静岡ライフハック研究会 Vol.4 LT

What's the CONTEXT

- 一般的な”文脈や背景”という意味での
Context
- タスク管理(GTD)的なContext

Context - GTD

“ 「時間ができたときにやるべき行動」
のリマインダーは、その行動に必要な
“状況”で分けておくのが一番効率的である。
具体的には、実行に必要な道具や場所、人
ごとに分類するわけだ。

単に**状況**ってだけ…

で...

まあ…

「家」とか「職場」とか

テンプレートの的なContext

作りますよね(^_^;)

それが悪いという事は何いんですが...

※自分に合わせてContext作るのも良いですが

□ 通勤時間の「移動中」

□ 通学時間の「移動中」

□ 遊びに行くときの「移動中」

- 通勤時間の「移動中」
→仕事モードなので職場のタスク

- 通学時間の「移動中」
→勉強モードなので勉強のタスク

- 遊びに行くときの「移動中」
→スイッチ入らないから軽いタスク

□ 通勤時間の「移動中」

→途中で郵便局の前を通るから～

□ 通学時間の「移動中」

→勉強前のリラックスできるタスク

□ 遊びに行くときの「移動中」

→移動時間のxx分で出来るタスク

いろいろな状況が考えられちゃう…

どれを選べばいいの？

Context Driven Testing

IT系の用語です(^_^;)

これは「“文脈や背景”を考慮してテストを
行う」ことの重要性を説くもの。

どんなソフトウェアも、

開発される背景や、

持つべき機能、

使われる目的、

環境などはそれぞれが異なる。

すべての条件、状況、目的に適用できる
ベストプラクティスなんてない

“背景・文脈に応じた
臨機応変な対応”が大切

Context-Driven School

「例えば、大学で哲学の講義中、教授が『常に正直であること』の重要性を生徒たちに教えていたとする。そこに突然、刃物を持った強盗が押し入ってきて『Aはどこにいる！ Aを出せ』と叫んだとしよう。そんなときも“正直であること”が大切だからと、Aの居場所を教えるのが正しいと言えるだろうか？

タスクの実行として見ても…

教科書や誰かのブログに書いてある方法で

自分に合った

タスク管理なんてできない

自分の持つ

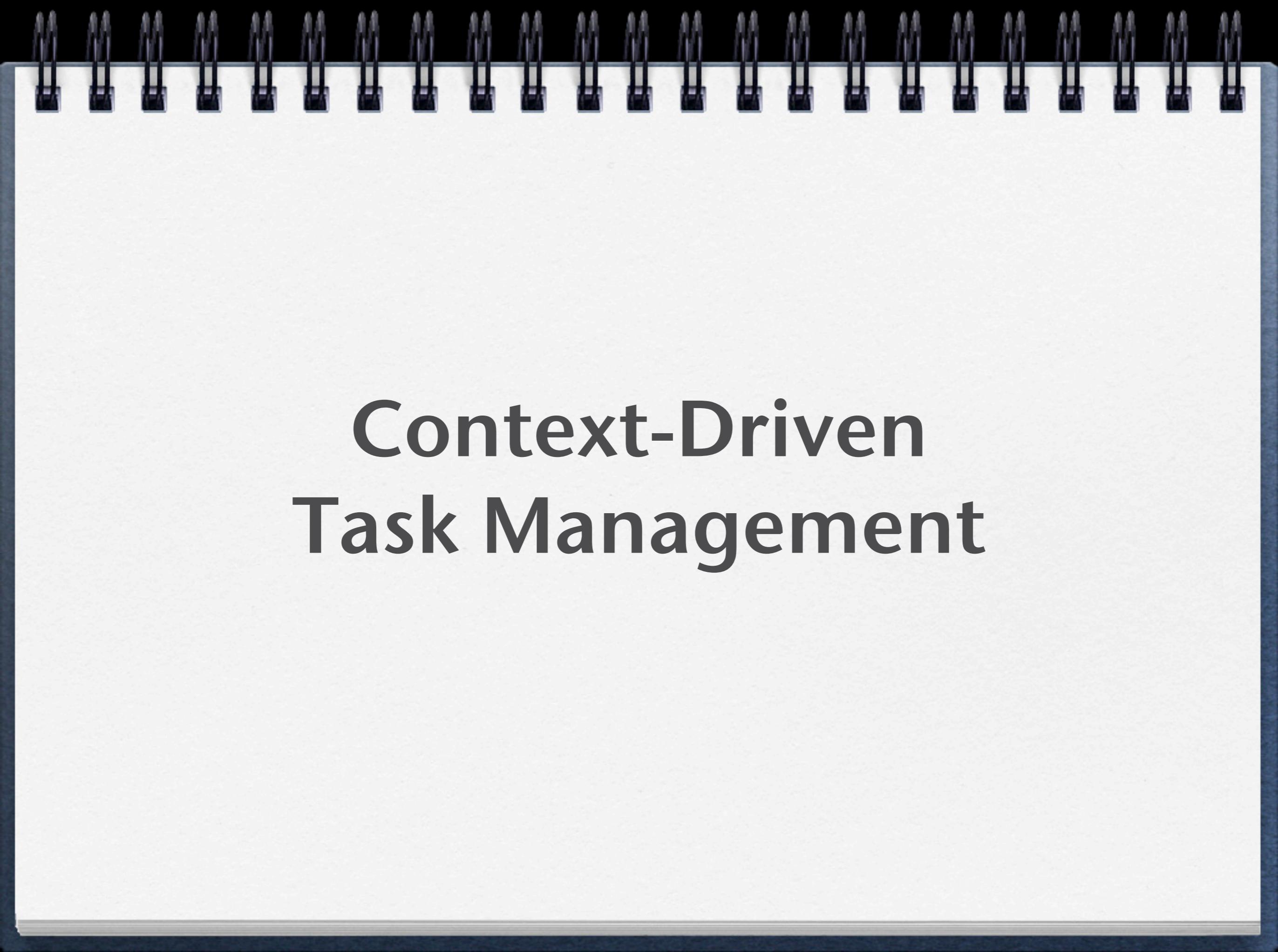
背景・機能・目的・環境

に合わせて

臨機応変に実行することが大切

こういう考え方を
Context-Driven
と

呼んでもいいのかな(´▽`)/

A spiral-bound notebook with a white page. The spiral binding is visible at the top edge. The text is centered on the page.

Context-Driven Task Management

今回のテーマは
「時間管理」

ということでしたが...

ここまで時間の話なし！

そもそも

何の時間を管理

するのか？

何かやること
= 時間が掛かる

やること = タスク

タスク管理の話で突き進んで

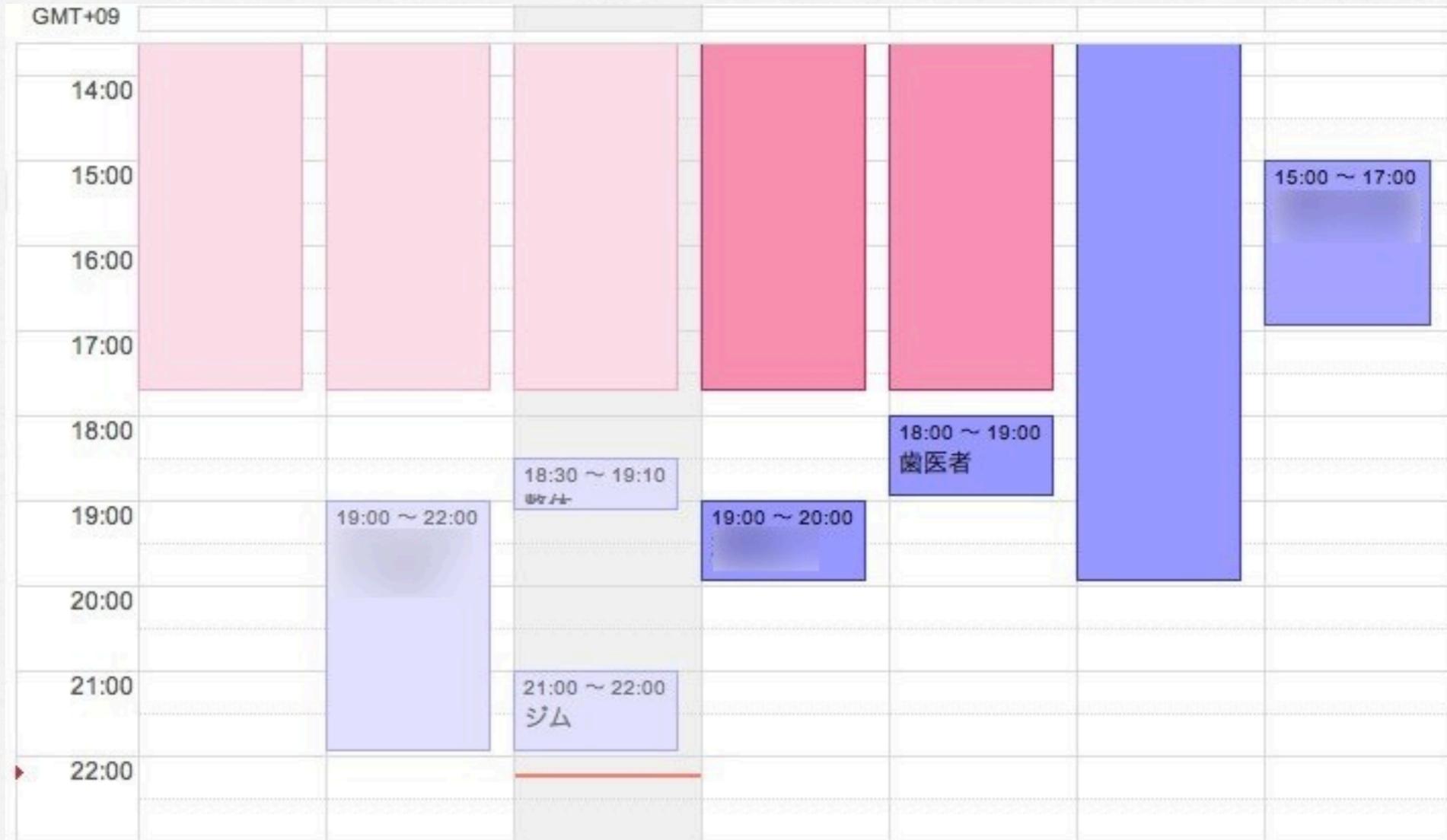
いいよね(´▽`)/

スケジュール管理的な感じで…

真っ白な予定に…

GMT+09						
07:00						
08:00						
09:00						
10:00						
11:00						
12:00						
13:00						
14:00						
15:00						
16:00						

プライベートの予定



その他諸々...

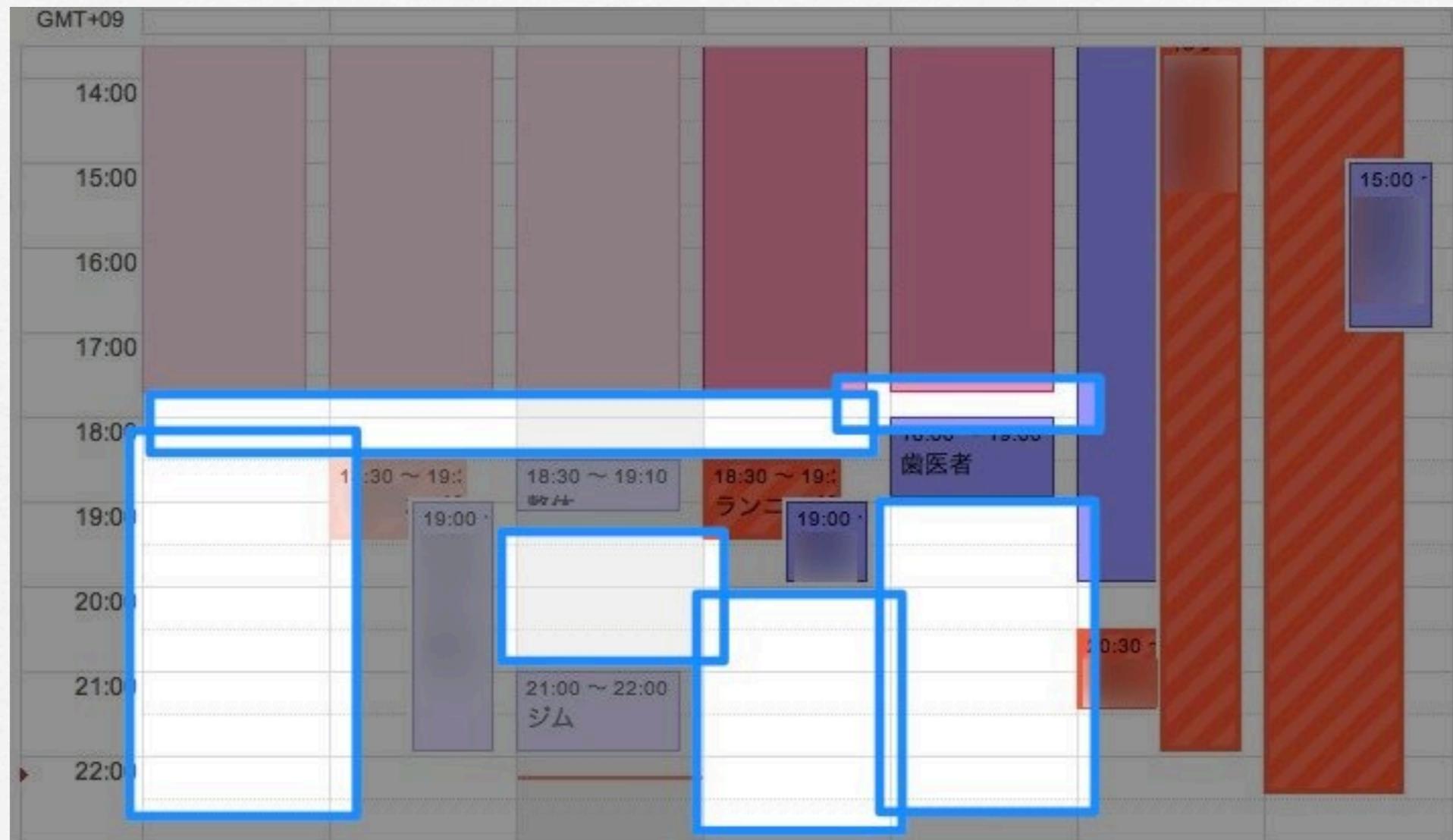


※普段カレンダーを時間調整に使っていないので、これはサンプルです
(こんな破綻したスケジュール作らない！)

この辺までが”時間割”として

7つの習慣的に言うと第一領域とか…
(まだ食事とかの予定無いけど)

このスキマに何のタスクを入れるのか？



スケジュールの他に生きる為に必要な事



基本の”時間割”みたいな
ものが最初にあって、そこ
からスキマ時間を活用

その時の状況に応じて
タスクを選択する

バッファ考えて

”枠”で時間を確保

していれば結構いける(´▽`)/

それでも…

雨が降る日もあったり…(;´Д`)



Context-Driven

に

スケジュール(タスク)を取捨選択する(´▽`)/

【再掲】

すべての条件、状況、目的に適用できる
ベストプラクティスなんてない

“背景・文脈に応じた
臨機応変な対応”が大切

臨機応変にタスクを選んだ結果、

やることが変わる

=必要な時間が変わる

時間の見積もり

は **難しい** ですが(^_^;)

ある程度まで

バッファとかで前後の文脈に

大きな影響が無い前提の範囲

カッチリ合わせる**必要もない**

そういう
「ゆるい」感じのアプローチ
が
有ってもいいじゃない(´▽`)/

Context-Driven Task Management

- “枠”で時間を確保しておいて、前後の文脈でやることを決める
- バッファでどーにかなるなら、臨機応変にタスクを組み替えたっていい
- ベストプラクティスなんてものはない

ご静聴どうもありがとうございました